

対象校No.
注4

学校コード F127310108018
注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

認可

注2
大阪樟蔭女子大学 学芸学部 リベラルアーツ学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正後大学設置基準適用)

学校法人樟蔭学園
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	企画調査部経営企画課
職名・氏名	カヂョウ ヨシダ ヨウスケ 課長・吉田 裕亮
電話番号	06-7506-9346 (内線: 2402)
(夜間)	06-7506-9346 (内線: 2402)
e-mail	keiei.kikaku@osaka-shoin.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合: 「〇〇大学」
・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

学芸学部

＜リベラルアーツ学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教育研究実施組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	33

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人樟蔭学園

(2) 大 学 名

大阪樟蔭女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒577-8550

大阪府東大阪市菱屋西4丁目2番26号

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	モリ シンタロウ 森 眞太郎 平成11年5月24日		
学 長	タケムラ カズオ 竹村 一夫 令和4年4月1日		
学 部 長	カワカミ マサヒロ 川上 正浩 令和6年4月1日		
学 科 長	ツジ ヒロミ 辻 弘美 令和7年4月1日		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称（学位）	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
学芸学部 リベラルアーツ学科 学士（リベラルアーツ）	文学関係	4 年	40 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	160 人		

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	40人 () []	人 () []	－	0.02 倍	－ 倍		
志願者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	4人 () []	人 () []					春季入学以外の 入学時期と 入学定員内訳
受験者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	4人 () []	人 () []					
合格者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	2人 () []	人 () []					
B 入学者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1人 () []	人 () []					
入学定員超過率 B/A	－		－		－		－		－		0.02						

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「－」を記入してください。
 - ・（ ）内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（ ）書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。
 - ・なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで**記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 - ・算出に当たっては、大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開採用）IV.33収容定員の充足状況をご確認ください。
 - ・なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで**記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 - ・なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	1 [－] －	－ [－] －	
2 年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
3 年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)
4 年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)			
計													

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	1 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	- 人	- 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下 (○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{1} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜学芸学部 リベラルアーツ学科＞

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					の 基 幹 教 員 （ 助 手 外 ）	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
(学士課程基幹教育科目)													
樟 蔭 基 礎 科 目	樟蔭の窓	1前		1			1					1	
	女性のライフサイクル	1-2-3-4前			2							1	
	ジェンダーを考える	1-2-3-4後			2							1	
	現代に生きる女性たち	1-2-3-4後			2							2	
	笑いは人をつなぐ	2-3-4前			2							2	
	感性の技法	2-3-4後			2							2	
	うつくしいという体験を考える	2-3-4後			2							1	
小計(7科目)		—		1	12	0	1	0	0	0	0	6	
コ ミュ ニ ケー ション （ 日 本 語 リ	アカデミック・スキルズA	1前		1								1	
	アカデミック・スキルズB	1後		1								1	
	新聞で学ぶ日本語A	1-2-3-4前			1							2	
	新聞で学ぶ日本語B	1-2-3-4後			1							1	
	生活の中の日本語A	2-3-4前			1							1	
	生活の中の日本語B	2-3-4後			1							2	
	論理トレーニング	1-2-3-4後			1							1	
	言語とコミュニケーション	2-3-4後			2							1	
	言 語 科 目	Communicative English 1r	1-2-3-4前			1							1
		Communicative English 1o	1-2-3-4後			1							1
Communicative English 2y		1-2-3-4前			1							1	
Communicative English 2g		1-2-3-4後			1							1	
Communicative English 3b		1-2-3-4前			1							1	
Communicative English 3v		1-2-3-4後			1							1	
Basic English bk		1-2-3-4前			1							1	
Basic English w		1-2-3-4後			1							1	
Basic English 1r		1-2-3-4前			1							1	
Basic English 1o		1-2-3-4後			1							1	
Basic English 2y		1-2-3-4前			1							1	
Basic English 2g		1-2-3-4後			1							1	
Basic English 3b		1-2-3-4前			1							1	
Basic English 3v		1-2-3-4後			1							1	
資格の英語A		1-2-3-4前			1							1	
資格の英語B		1-2-3-4後			1							1	
旅行の英語		1-2-3-4後			1							1	
留学の英語		2-3-4前-後			1							1	
接客英会話		1-2-3-4後			1							1	
ニュースの英語		2-3-4前			1							1	
Conversation and Fluency A		3-4前-後			1							1	
Conversation and Fluency B		3-4後			1							1	
アジアの言語・文化を知る		2-3-4前			1							1	
海外外国語演習A		1-2-3-4			2							1	
海外外国語演習B		1-2-3-4			2							1	
海外外国語演習C		1-2-3-4			2							1	
異文化演習		1-2-3-4			1							1	
中国語Ⅰ		1-2-3-4前			1							1	
中国語Ⅱ		1-2-3-4後			1							1	
中国語Ⅲ		2-3-4前			1							1	
中国語Ⅳ	2-3-4後			1							1		
韓国・朝鮮語Ⅰ	1-2-3-4前			1							1		
韓国・朝鮮語Ⅱ	1-2-3-4後			1							1		
韓国・朝鮮語Ⅲ	2-3-4前			1							1		
韓国・朝鮮語Ⅳ	2-3-4後			1							1		
ドイツ語Ⅰ	1-2-3-4前			1							1		
ドイツ語Ⅱ	1-2-3-4後			1							1		
フランス語Ⅰ	1-2-3-4前			1							1		
フランス語Ⅱ	1-2-3-4後			1							1		
スペイン語Ⅰ	1-2-3-4前			1							1		
スペイン語Ⅱ	1-2-3-4後			1							1		
小計(49科目)		—		2	51	0	0	0	0	0	0	15	
数 理 情 報 科 目	情報と社会	1前		2								1	
	情報処理基礎A	1前		1								1	
	情報処理基礎B	1後		1								1	
	暮らしとAI・データサイエンス	2-3-4前-後		2								1	
	AI・データサイエンス(データと社会)	2-3-4前		2								1	
	AI・データサイエンス(データ分析)	2-3-4後		2								1	
	数学でわかるAIのエッセンス	1-2-3-4後		2		1						1	
小計(7科目)		—		6	6	0	1	0	0	0	0	1	

【令和7年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					の 基 幹 教 員 （ 助 手 外 ）	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
(学士課程基幹教育科目)													
樟 蔭 基 礎 科 目	樟蔭の窓	1前		1			1					1	
	女性のライフサイクル(未開講)	1-2-3-4前										2	
	ジェンダーを考える(未開講)	1-2-3-4後										1	
	現代に生きる女性たち(未開講)	1-2-3-4後										2	
	笑いは人をつなぐ(未開講)	2-3-4前										2	
	感性の技法(未開講)	2-3-4後										2	
	うつくしいという体験を考える(未開講)	2-3-4後										1	
小計(7科目)		—		1	12	0	1	0	0	0	0	7	
コ ミュ ニ ケー ション （ 日 本 語 リ	アカデミック・スキルズA	1前		1								1	
	アカデミック・スキルズB	1後		1								1	
	新聞で学ぶ日本語A(未開講)	1-2-3-4前			1							2	
	新聞で学ぶ日本語B(未開講)	1-2-3-4後			1							1	
	生活の中の日本語A(未開講)	2-3-4前			1							1	
	生活の中の日本語B(未開講)	2-3-4後			1							2	
	論理トレーニング(未開講)	1-2-3-4前			1							1	
	言語とコミュニケーション(未開講)	2-3-4後			2							1	
	コ ミュ ニ ケー ション （ 外 国 語	Communicative English 1r	1-2-3-4前			1							1
		Communicative English 1o	1-2-3-4後			1							1
Communicative English 2y(未開講)		1-2-3-4前			1							1	
Communicative English 2g(未開講)		1-2-3-4後			1							1	
Communicative English 3b(未開講)		1-2-3-4前			1							1	
Communicative English 3v(未開講)		1-2-3-4後			1							1	
Basic English bk(未開講)		1-2-3-4前			1							1	
Basic English w(未開講)		1-2-3-4後			1							1	
Basic English 1r		1-2-3-4前			1							1	
Basic English 1o		1-2-3-4後			1							1	
Basic English 2y(未開講)		1-2-3-4前			1							1	
Basic English 2g(未開講)		1-2-3-4後			1							1	
Basic English 3b(未開講)		1-2-3-4前			1							1	
Basic English 3v(未開講)		1-2-3-4後			1							1	
資格の英語A(未開講)		1-2-3-4前			1							1	
資格の英語B(未開講)		1-2-3-4後			1							1	
旅行の英語(未開講)		1-2-3-4後			1							1	
留学の英語(未開講)		2-3-4前-後			1							1	
接客英会話(未開講)		1-2-3-4後			1							1	
ニュースの英語(未開講)		2-3-4前			1							1	
Conversation and Fluency A(未開講)		3-4前-後			1							1	
Conversation and Fluency B(未開講)		3-4後			1							1	
アジアの言語・文化を知る(未開講)		2-3-4前			1							1	
海外外国語演習A(未開講)		1-2-3-4			2							1	
海外外国語演習B(未開講)		1-2-3-4			2							1	
海外外国語演習C(未開講)		1-2-3-4			2							1	
異文化演習(未開講)		1-2-3-4			1							1	
中国語Ⅰ(未開講)		1-2-3-4前			1							1	
中国語Ⅱ(未開講)		1-2-3-4後			1							1	
中国語Ⅲ(未開講)		2-3-4前			1							1	
中国語Ⅳ(未開講)		2-3-4後			1							1	
韓国・朝鮮語Ⅰ(未開講)		1-2-3-4前			1							1	
韓国・朝鮮語Ⅱ(未開講)		1-2-3-4後			1							1	
韓国・朝鮮語Ⅲ(未開講)		2-3-4前			1							1	
韓国・朝鮮語Ⅳ(未開講)		2-3-4後			1							1	
ドイツ語Ⅰ(未開講)		1-2-3-4前			1							1	
ドイツ語Ⅱ(未開講)	1-2-3-4後			1							1		
フランス語Ⅰ(未開講)	1-2-3-4前			1							1		
フランス語Ⅱ(未開講)	1-2-3-4後			1							1		
スペイン語Ⅰ(未開講)	1-2-3-4前			1							1		
スペイン語Ⅱ(未開講)	1-2-3-4後			1							1		
小計(49科目)		—		2	51	0	0	0	0	0	0	14	
数 理 情 報 科 目	情報と社会	1前		2								1	
	情報処理基礎A	1前		1								1	
	情報処理基礎B	1後		1								1	
	暮らしとAI・データサイエンス(未開講)	2-3-4前-後		2								1	
	AI・データサイエンス(データと社会)(未開講)	2-3-4前		2								1	
	AI・データサイエンス(データ分析)(未開講)	2-3-4後		2								1	
	数学でわかるAIのエッセンス(未開講)	1-2-3-4後		2		1						1	
小計(7科目)		—		6	6	0	1	0	0	0	0	1	

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					の 基 幹 教 員 等 (手 外)	
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
樟 蔭 教 養 科 目	自然の 理解	数学とは何か	1-2-3-4後			2		1						
		物理で考える暮らし	1-2-3-4前			2							1	
		化学で考える暮らし	1-2-3-4後			2							1	
		宇宙へ広がる私たちの世界	1-2-3-4後			2		1						
		健康の科学	1-2-3-4後			2							1	
		ライフステージと栄養	1-2-3-4後			2							2	
		生命の成り立ち	1-2-3-4後			2		1						
		美しい地球を創る	2-3-4前			2							2	
	人文の 探求	私たちはどう生きるか	1-2-3-4後			2							1	
		文学の読み方	1-2-3-4後			2							1	
		歴史の読み方	1-2-3-4後			2		1						
		自己の探求	1-2-3-4後			2							2	
		心のしくみ	1-2-3-4前			2							1	
		心の健康	1-2-3-4前			2		1						
		宗教と現代	1-2-3-4後			2							1	
		ポップカルチャー論	1-2-3-4前			2							1	
	表現するからだ、考えるからだ	2-3-4前			2							1		
	社会 への 視点	日本国憲法	1-2-3-4前				2						1	
		日常生活と法	1-2-3-4前				2						1	
		家計・消費と経済	1-2-3-4前				2						1	
		現代社会と生活者の視点	1-2-3-4後				2						1	
		子育てを考える	1-2-3-4後				2						1	
		地域課題とボランティア活動	1-2-3-4前				2						1	
		地球と社会の歩き方	2-3-4後				2		1					
国際社会と平和		2-3-4休				2						1		
多様性社会を生きるとは	2-3-4後				2		1							
体験 の 方法	和の伝統芸道	1-2-3-4後			1							1		
	レクリエーションと健康	2-3-4後			2							1		
	運動と健康A	1-2-3-4前			1							1		
	運動と健康B	1-2-3-4後			1							1		
小計(30科目)			—			0	57	0	4	2	0	0	0	21
キ ャ リ ア 系 科 目	キャリア設計	1後・2前			1								1	
	キャリア開発	2前			1								1	
	キャリア研究	3前			2								1	
	キャリア実習A	2通			2								1	
	キャリア実習B	3通			2								1	
	キャリア実習C	4通			2								1	
	小計(6科目)	—	—	0	10	0	0	0	0	0	0	0	1	
学士課程基幹教育科目 合計(99科目)				—	—	9	136	0	4	2	0	0	0	40
(リベラルアーツ学科専攻科目)														
基 礎 科 目	知への扉	1前	○	2				5	1					3
	知の技法	1後	○	2				4	1					2
	科学的方法の理解	1後	○	2				2						4
	小計(3科目)	—	—	6	0	0	5	1	0	0	0	0	7	
P B L 科 目	実践演習基礎(Human)	1前	○	2				2						
	実践演習基礎(Society)	1後	○	2					2					
	人間科学実践演習Ⅰ	2前	○	2				1					1	
	地域課題実践演習Ⅰ	2後	○	2					2					
	人間科学実践演習Ⅱ	3前	○		2			2						
	地域課題実践演習Ⅱ	3後	○		2				2					
	人間科学キャリア実践演習	3後	○		2				2					
	地域課題調査実習	3前	○		2				2					
	卒業研究A	4前	○	2				2	2					
	卒業研究B	4後	○	2				2	2					
	卒業論文	4通	○	6				2	2					
	小計(11科目)	—	—	18	8	0	2	2	2	0	0	0	1	
	人 間 を 理 解 す る た め の 科 目	心理学概論	1前	○	2				2					
心理学研究法		1前	○	2										1
心理学実験		1後	○	2				2						2
心理研究法演習(面接・観察)		2前	○	2				1						
心理調査基礎実習		2後			2			1					1	
知的生産とクリティカル・シンキング		2後			2								1	
脳科学とその応用		3前			2								1	
消費者行動論		3前			2								1	
小計(8科目)	—	—	8	8	0	2	0	0	0	0	0	6		
地 域 を 理 解 す る た め の 科 目	世界の日本の	1前	○	2				1						
	社会とコミュニケーション	1前		1										1
	家族関係論	2後		2										1
	東大版学	1後	○	2				1						
	文化政策学	2前		2										1
	文化遺産論	3後	○		2				1					
	国際関係論	3前			2									1
	ソーシャルデザイン	2後			2									1
	行動経済学	2前			2									1
	小計(9科目)	—	—	9	8	0	1	1	0	0	0	0	6	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置						の 基 幹 教 員 数 (主 任 教 員 を 除 く ・ 助 手 は 外)
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
デ ー タ ス キ ル 科 目	プログラミング演習Ⅰ	1後		1								1	
	プログラミング演習ⅠA	2前			1							1	
	プログラミング演習ⅠB	2後			1							1	
	社会調査概説	1後			2							1	
	社会調査の方法	2前			2							1	
	サイバーセキュリティ	3後			2							1	
	科学的思考実験	3後			1							1	
	基礎統計学	2前	○	2		1							
	データ解析の基礎	2後	○		2	1							
	量的データ解析実習	3前			1							1	
	小計(10科目)	—	—	3	12	0	2	0	0	0	0	4	
リベラルアーツ学科専攻科目 合計(41科目)			—	—	44	36	0	5	2	0	0	0	19
合計(140科目)			—	—	53	172	0	5	2	0	0	0	56
卒業要件及び履修方法													
学士課程基幹教育の必修科目9単位及び選択必修科目20単位、専攻科目の必修科目44単位及び選択必修科目4単位を含み、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))													

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置						の 基 幹 教 員 数 (主 任 教 員 を 除 く ・ 助 手 は 外	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
デ ー タ ス キ ル 科 目	プログラミング演習Ⅰ	1後		1								1		
	プログラミング演習ⅡA(未開講)	2前			1							1		
	プログラミング演習ⅡB(未開講)	2後			1							1		
	社会調査概説	1後			2							1		
	社会調査の方法(未開講)	2前			2							1		
	サイバーセキュリティ(未開講)	3後			2							1		
	科学的思考実験(未開講)	3後			1							1		
	基礎統計学(未開講)	2前	○	2		1								
	データ解析の基礎(未開講)	2後	○		2		1							
	量的データ解析実習(未開講)	3前			1							1		
	小計(10科目)	—	—	3	12	0	2	0	0	0	0	4		
リベラルアーツ学科専攻科目 合計(41科目)				—	—	44	36	0	5	2	0	0	0	19
合計(140科目)				—	—	53	172	0	5	2	0	0	0	60
卒業要件及び履修方法														
学士課程基幹教育の必修科目9単位及び選択必修科目20単位、専攻科目の必修科目44単位及び選択必修科目4単位を含み、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))														

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。))を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、**「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。**その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、**「基幹教員以外の教員(助手を除く)」(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を太字の赤字**としてください。
(専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - 1ページ目は認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨床実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度】(新)→【令和6年度】(新)→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度】(旧)→【令和6年度】(旧)

(1) -②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・担当者追加により、学士課程基幹教育科目樟蔭基礎科目「女性のライフサイクル」の基幹教員以外の教員数を「1」から「2」に変更。
- ・「女性のライフサイクル」担当者追加により、樟蔭基礎科目小計を「6」から「7」に変更。
- ・担当者変更により、学士課程基幹教育科目言語科目小計を「15」から「14」に変更。
- ・担当者変更により、学士課程基幹教育科目樟蔭教養科目「自己の探求」の基幹教員以外の教員数を「2」から「1」に変更。
- ・履修スケジュールにより、学士課程基幹教育科目樟蔭教養科目「日本国憲法」の開講を「1・2・3・4前・後」から「1・2・3・4後」に、担当教員変更により、樟蔭教養科目「日本国憲法」の基幹教員以外の教員数を「1」から「2」に変更。
- ・「自己の探求」担当者変更により、樟蔭教養科目小計を「21」から「24」に変更。
- ・履修スケジュールにより、学士課程基幹教育科目キャリア系科目「キャリア設計」の開講を「1後・2前」から「1・2後」に変更、担当教員の変更により、キャリア系科目「キャリア設計」の基幹教員以外の教員数を「1」から「2」に変更。
- ・「キャリア設計」担当者変更により、キャリア系科目小計を「1」から「3」に変更。
- ・学士課程基幹教育科目の変更により、学士課程基幹教育科目合計を「40」から「45」に変更。
- ・申請書類の記載間違いにより、所属学科専攻科目「人間を理解するための科目」小計を「6」から「7」に変更。
- ・学士課程基幹教育科目、所属学科専攻科目の変更により、基幹教員以外の教員数を「56」から「60」に変更。

- (注)・ 2(1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合(例:「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更)や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合(例:「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更)については、記入しないでください。
 - ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
28 科目	112 科目	0 科目	140 科目	28 科目 []	112 科目 []	0 科目 []	140 科目 []	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{140} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	61,859.613㎡	0.00㎡	0.00㎡	61,859.613㎡				
	そ の 他	31,889.822㎡	0.00㎡	0.00㎡	31,889.822㎡				
	合 計	93,749.435㎡	0.00㎡	0.00㎡	93,749.435㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		44,351.87㎡	0.00㎡	0.00㎡	44,351.87㎡				
		(44,351.87㎡)	(0.00㎡)	(0.00㎡)	(44,351.87㎡)				
(3)教室・教員研究室		教 室	37室	教員研究室	109室	大学全体			
(4) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		機械・器具	標本	学科単位での特定不能 なため、大学全体の数 本の劣化等による除籍 が多かったため、全体的 に減少 電子図書は利用低のため 購入を控え、電子 ジャーナルはパッケージ 契約の提供タイトル 数変動による (7)		
		〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	〔うち外国書〕 種				電子ジャーナル 〔うち外国書〕	
	学芸学部 リベラルアーツ学 科	241,800 [39,280] (235,953 [39,286]) -(236,400 [39,250])	2,000 [236] (1,508 [236]) (1,700 [236])	4,780 [2,975] (4,576 [2,874]) -(4,760 [2,970])	2,405 [2,350] (2,280 [2,244]) -(2,395 [2,340])	5,322 (4,840) -(4,962)		0 (0)	
	計	241,800 [39,280] (235,953 [39,286]) -(236,400 [39,250])	2,000 [236] (1,508 [236]) (1,700 [236])	4,780 [2,975] (4,576 [2,874]) -(4,760 [2,970])	2,405 [2,350] (2,280 [2,244]) -(2,395 [2,340])	5,322 (4,840) -(4,962)		0 (0)	
(5) スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂	厚生補導施設		大学全体		
		0.00㎡		0.00㎡	3,511.59㎡				
(6) 経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	経費の 見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャー ナル・データベースの 整備費（運用コスト含 む）を含む。
		教員 1 人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	0千円	490千円	860千円	
		共 同 研 究 費 等	5,500千円	5,500千円	設備購入費	0千円	1,001千円	300千円	
	学生 1 人当 り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1,605千円	1,325千円	1,325千円	1,325千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等					

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。
 (複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
 - ・国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	大阪樟蔭女子大学								収容定員充足率0.7倍以下の学科数	6	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科のみ)	開設 年度	所在地	備 考	
学芸学部	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	大阪府東大阪市菱屋西4丁目2番26号		
リベラルアーツ学科	4	350	0	1,470	学士 (リベラルアーツ)	0.84	-	-	-	同上		
国文学科	4	40	0	220	学士 (国文学)	0.02	-	-	令和7	同上	・ 令和7年度入学定員減 (20人減)	
国際英語学科	4	40	0	220	学士 (国際英語学)	0.66	-	-	昭和24	同上	・ 令和7年度入学定員減 (10人減)	
心理学科	4	30	0	150	学士 (心理学)	0.43	-	-	平成22	同上	・ 令和7年度入学定員減 (20人減)	
ライフプランニング学科	4	60	0	300	学士 (ライフプランニング)	0.99	-	-	平成27	同上	・ 令和7年度入学定員減 (20人減)	
化粧品ファッション学科	4	40	0	220	学士 (化粧品学)	0.60	-	-	平成19	同上	・ 令和7年度入学定員減 (20人減)	
児童教育学部	4	140	0	540	学士 (児童教育学)	1.10	-	-	昭和24	同上	・ 令和5年度入学定員増 (20人増)	
児童教育学科	4	50	0	460	学士 (児童教育学)	0.41	-	-	平成25	同上	・ 令和5年度入学定員減 (50人減) ・ 令和7年度入学定員減 (70人減)	
健康栄養学部	4	50	0	460	学士 (健康栄養学)	0.65	-	-	平成27	同上		
健康栄養学科	4	100	0	580	学士 (健康栄養学)	0.65	-	-	平成27	同上		
管理栄養士専攻	4	80	0	440	学士 (健康栄養学)	0.67	-	-	平成27	同上	・ 令和7年度入学定員減 (40人減)	
食物栄養専攻	4	20	0	140	学士 (健康栄養学)	0.60	-	-	平成27	同上	・ 令和7年度入学定員減 (20人減)	
大学全体	4	500	0	2,510	-	0.72	-	-	-	-		

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。

・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとに、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<学芸学部 リベラルアーツ学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授 (学 科 長)	辻 弘美 () <令和7年4月> 博士(人間発達心理学)(英国)
		知への扉 ※ 知の技法 ※ 実践演習基礎 (Human) 人間科学実践演習Ⅱ 人間科学キャリア実践演習 卒業研究A 卒業研究B 卒業論文 心理学実験 心理研究法演習(面接・観察) 心理学概論 ※
基(主専)	教授	佐久田(佐藤) 祐子 () <令和7年4月> 博士(工学)
		心の健康 知への扉 ※ 知の技法 ※ 実践演習基礎 (Human) 人間科学実践演習Ⅰ 人間科学実践演習Ⅱ 人間科学キャリア実践演習 卒業研究A 卒業研究B 卒業論文 心理学実験 心理調査基礎実習 心理学概論 ※
基(主専)	教授	白川 哲郎 () <令和7年4月> 博士(文学)
		樟蔭の窓 ※ 歴史の読み方 知への扉 ※ 知の技法 ※ 東大阪学

【令和7年度】

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授 (学 科 長)	辻 弘美 () <令和7年4月> 博士(人間発達心理学)(英国)
		知への扉 ※ 知の技法 ※ 実践演習基礎 (Human) 人間科学実践演習Ⅱ 人間科学キャリア実践演習 卒業研究A 卒業研究B 卒業論文 心理学実験 心理研究法演習(面接・観察) 心理学概論 ※
基(主専)	教授	佐久田(佐藤) 祐子 () <令和7年4月> 博士(工学)
		心の健康 知への扉 ※ 知の技法 ※ 実践演習基礎 (Human) 人間科学実践演習Ⅰ 人間科学実践演習Ⅱ 人間科学キャリア実践演習 卒業研究A 卒業研究B 卒業論文 心理学実験 心理調査基礎実習 心理学概論 ※
基(主専)	教授	白川 哲郎 () <令和7年4月> 博士(文学)
		樟蔭の窓 ※ 歴史の読み方 知への扉 ※ 知の技法 ※ 東大阪学

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	教授	門 正博 () ＜令和7年4月＞ Docteur de Troisième Cycle es sciences (仏国)
		宇宙へ広がる私たちの世界 生命の成り立ち 知への扉 ※ 知の技法 ※ 基礎統計学 科学的方法の理解
基（主専）	教授	中川 明子 () ＜令和7年4月＞ 理学士
		数学でわかるAIのエッセンス 数学とは何か 知への扉 ※ データ解析の基礎 科学的方法の理解
基（主専）	准教授	久島 桃代 () ＜令和7年4月＞ 博士(社会科学)
		地球と社会の歩き方 知への扉 ※ 知の技法 ※ 実践演習基礎 (Society) 地域課題実践演習Ⅰ 地域課題実践演習Ⅱ 地域課題調査実習 卒業研究A 卒業研究B 卒業論文 世界の中の日本 文化遺産論
基（主専）	准教授	中本 剛二 () ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		多様性社会を生きるとは 実践演習基礎 (Society) 地域課題実践演習Ⅰ 地域課題実践演習Ⅱ 地域課題調査実習 卒業研究A 卒業研究B 卒業論文
その他	教授	奥田 亮 () ＜令和7年4月＞ 修士※(教育学)
		樟蔭の窓 ※ うつくしいという体験を考える 自己の探求 ※

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	教授	門 正博 () ＜令和7年4月＞ Docteur de Troisième Cycle es sciences (仏国)
		宇宙へ広がる私たちの世界 生命の成り立ち 知への扉 ※ 知の技法 ※ 基礎統計学 科学的方法の理解
基（主専）	教授	中川 明子 () ＜令和7年4月＞ 理学士
		数学でわかるAIのエッセンス 数学とは何か 知への扉 ※ データ解析の基礎 科学的方法の理解
基（主専）	准教授	久島 桃代 () ＜令和7年4月＞ 博士(社会科学)
		地球と社会の歩き方 知への扉 ※ 知の技法 ※ 実践演習基礎 (Society) 地域課題実践演習Ⅰ 地域課題実践演習Ⅱ 地域課題調査実習 卒業研究A 卒業研究B 卒業論文 世界の中の日本 文化遺産論
基（主専）	准教授	中本 剛二 () ＜令和7年4月＞ 博士(文学)
		多様性社会を生きるとは 実践演習基礎 (Society) 地域課題実践演習Ⅰ 地域課題実践演習Ⅱ 地域課題調査実習 卒業研究A 卒業研究B 卒業論文
その他	教授	奥田 亮 () ＜令和7年4月＞ 修士※(教育学)
		樟蔭の窓 ※ うつくしいという体験を考える

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	高橋 裕子 () ＜令和7年4月＞ 修士※(文学)
		女性のライフサイクル
その他	教授	川野 佐江子 () ＜令和7年10月＞ 博士(比較文学)
		ジェンダーを考える 現代に生きる女性たち ※ 表現するからだ、考えるからだ
その他	教授	小森 道彦 () ＜令和7年4月＞ 文学修士※
		笑いは人をつなぐ 感性の技法 旅行の英語 留学の英語 接客英会話 フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ 和の伝統芸道 知への扉 ※
その他	教授 (学 部 長)	川上 正浩 () ＜令和7年4月＞ 博士(心理学)
		笑いは人をつなぐ 感性の技法 心のしくみ 知への扉 ※ 知の技法 ※ 人間科学実践演習Ⅰ 心理学研究法 知的生産とクリティカル・シン キング 科学的方法の理解
その他	教授	兼重 昇 () ＜令和7年4月＞ 修士※(教育学)
		Basic English 2y Basic English 2g ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	高橋 裕子 () ＜令和7年4月＞ 修士※(文学)
		女性のライフサイクル
その他	教授	川野 佐江子 () ＜令和7年10月＞ 博士(比較文学)
		ジェンダーを考える 現代に生きる女性たち ※ 表現するからだ、考えるからだ
その他	教授	小森 道彦 () ＜令和7年4月＞ 文学修士※
		笑いは人をつなぐ 感性の技法 旅行の英語 留学の英語 接客英会話 フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ 和の伝統芸道 知への扉 ※
その他	教授 (学 部 長)	川上 正浩 () ＜令和7年4月＞ 博士(心理学)
		笑いは人をつなぐ 感性の技法 心のしくみ 知への扉 ※ 知の技法 ※ 人間科学実践演習Ⅰ 心理学研究法 知的生産とクリティカル・シン キング 科学的方法の理解
その他	教授	兼重 昇 () ＜令和7年4月＞ 修士※(教育学)
		Basic English 2g ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ 中国語Ⅱ

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	遠藤 晃男 () ＜令和7年4月＞ 博士（工学）
		情報と社会 情報処理基礎A 情報処理基礎B 暮らしとAI・データサイエンス AI・データサイエンス（データと社会） AI・データサイエンス（データ分析） 科学的思考実験 ソーシャルデザイン プログラミング演習Ⅰ プログラミング演習ⅡA プログラミング演習ⅡB サイバーセキュリティ
その他	教授	鈴木 朋子 () ＜令和7年10月＞ 博士（人間科学）
		健康の科学
その他	教授	坂田 浩之 () ＜令和7年10月＞ 修士※（教育学）
		自己の探求 ※
その他	教授	越智 砂織 () ＜令和7年4月＞ 博士（法学）
		日本国憲法 日常生活と法 現代社会と生活者の視点
その他	教授	北村（田端） 瑞穂 () ＜令和7年10月＞ 博士（教育学）
		子育てを考える
その他	教授	永野 光朗 () ＜令和7年4月＞ 文学修士※
		心理学概論 ※ 心理調査基礎実習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	遠藤 晃男 () ＜令和7年4月＞ 博士（工学）
		情報と社会 情報処理基礎A 情報処理基礎B 暮らしとAI・データサイエンス AI・データサイエンス（データと社会） AI・データサイエンス（データ分析） 科学的思考実験 ソーシャルデザイン プログラミング演習Ⅰ プログラミング演習ⅡA プログラミング演習ⅡB サイバーセキュリティ
その他	教授	鈴木 朋子 () ＜令和7年10月＞ 博士（人間科学）
		健康の科学
その他	講師	越智 砂織 () ＜令和7年4月＞ 博士（法学）
		日常生活と法
その他	教授	竹内 靖浩 () ＜令和7年4月＞ 学士（経済）
		現代社会と生活者の視点
その他	教授	北村（田端） 瑞穂 () ＜令和7年10月＞ 博士（教育学）
		子育てを考える
その他	教授	永野 光朗 () ＜令和7年4月＞ 文学修士※
		自己の探求 心理学概論 ※ 心理調査基礎実習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	山崎 晃男 () ＜令和7年4月＞ 博士（人間科学）
		心理学概論 ※
その他	教授	高橋 悟 () ＜令和9年4月＞ 博士（教育学）
		国際関係論
その他	教授	竹村 一夫 () ＜令和7年4月＞ 文学修士※
		量的データ解析実習
その他	教授	高田 定樹 () ＜令和7年10月＞ 博士（学術）
		科学的方法の理解
その他	教授	一條 知昭 () ＜令和7年10月＞ 博士（薬学）
		科学的方法の理解
その他	准教授	松本（佐野） 理美 () ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		新聞で学ぶ日本語A 生活の中の日本語B
その他	准教授	杉浦 隆 () ＜令和7年4月＞ 修士※(文学)
		言語とコミュニケーション Basic English bk Basic English w Basic English 1r Basic English 1o ニュースの英語
その他	准教授	濱田 信吾 () ＜令和7年4月＞ 人類学博士（米国）
		海外外国語演習A 海外外国語演習B 海外外国語演習C 異文化演習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	山崎 晃男 () ＜令和7年4月＞ 博士（人間科学）
		心理学概論 ※
その他	教授	高橋 悟 () ＜令和9年4月＞ 博士（教育学）
		国際関係論
その他	教授	竹村 一夫 () ＜令和7年4月＞ 文学修士※
		量的データ解析実習
その他	教授	高田 定樹 () ＜令和7年10月＞ 博士（学術）
		科学的方法の理解
その他	教授	一條 知昭 () ＜令和7年10月＞ 博士（薬学）
		科学的方法の理解
その他	准教授	松本（佐野） 理美 () ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		新聞で学ぶ日本語A 生活の中の日本語B
その他	准教授	杉浦 隆 () ＜令和7年4月＞ 修士※(文学)
		言語とコミュニケーション Basic English bk Basic English w Basic English 1r Basic English 1o Basic English 2y ニュースの英語
その他	准教授	濱田 信吾 () ＜令和7年4月＞ 人類学博士（米国）
		海外外国語演習A 海外外国語演習B 海外外国語演習C 異文化演習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	谷 明日香 () ＜令和7年10月＞ 博士（学術）
		化学で考える暮らし
その他	准教授	佐橋 由美 () ＜令和7年4月＞ 体育学修士 教育学修士※
		運動と健康A 運動と健康B
その他	准教授	高松 直紀 () ＜令和7年10月＞ 修士（人間科学）
		キャリア設計 キャリア開発 キャリア研究 キャリア実習A キャリア実習B キャリア実習C
その他	准教授	豊島 久美子 () ＜令和7年4月＞ 博士（人間科学）
		知への扉 ※ 社会とコミュニケーション
その他	准教授	呉 知恩 () ＜令和7年10月＞ 人類学修士※（韓国）
		知の技法 ※ 家族関係論 社会調査概説
その他	准教授	野間（常見） 万里子 () ＜令和9年4月＞ 博士（農学）
		消費者行動論
その他	講師	中村 圭美 () ＜令和7年10月＞ 修士※（行政学）
		現代に生きる女性たち ※

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	谷 明日香 () ＜令和7年10月＞ 博士（学術）
		化学で考える暮らし
その他	准教授	佐橋 由美 () ＜令和7年4月＞ 体育学修士 教育学修士※
		運動と健康A 運動と健康B
その他	講師	高松 直紀 () ＜令和7年10月＞ 修士（人間科学）
		キャリア開発 キャリア研究 キャリア実習A キャリア実習B キャリア実習C
その他	准教授	豊島 久美子 () ＜令和7年4月＞ 博士（人間科学）
		知への扉 ※ 社会とコミュニケーション
その他	准教授	呉 知恩 () ＜令和7年10月＞ 人類学修士※（韓国）
		知の技法 ※ 家族関係論 社会調査概説
その他	准教授	野間（常見） 万里子 () ＜令和9年4月＞ 博士（農学）
		消費者行動論
その他	講師	神村 朋佳 () ＜令和7年4月＞ 修士（文学）
		女性のライフサイクル
その他	准教授	中村 圭美 () ＜令和7年10月＞ 修士※（行政学）
		現代に生きる女性たち ※

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	平野 莉江子 () ＜令和7年4月＞ 修士(言語教育情報学)
		新聞で学ぶ日本語A
その他	講師	樋口 尊子 () ＜令和7年10月＞ 修士(言語教育情報学)
		新聞で学ぶ日本語B
その他	講師	松本 亮 () ＜令和7年10月＞ 修士※(言語学)
		論理トレーニング
その他	講師	Ayed Hasian () ＜令和7年4月＞ M. A. in Asian Languages and Civilizations:japanese (米国)
		Communicative English 1r Communicative English 1o Communicative English 2y Communicative English 2g
その他	講師	Jennifer Rose Smith () ＜令和7年4月＞ M. A. in Teaching English as a Second Language (米国)
		Communicative English 3b Communicative English 3v Conversation and Fluency A Conversation and Fluency B
その他	講師	吉本 康子 () ＜令和8年4月＞ 博士(人間科学)
		アジアの言語・文化を知る

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	樋口 尊子 () ＜令和7年10月＞ 修士(言語教育情報学)
		新聞で学ぶ日本語A 新聞で学ぶ日本語B
その他	講師	佐藤 春樹 () ＜令和7年10月＞ 修士(心理学)
		論理トレーニング
その他	講師	Ayed Hasian () ＜令和7年4月＞ M. A. in Asian Languages and Civilizations:japanese (米国)
		Communicative English 1r Communicative English 1o Communicative English 2y Communicative English 2g Communicative English 3b Communicative English 3v Conversation and Fluency A Conversation and Fluency B
その他	講師	吉本 康子 () ＜令和8年4月＞ 博士(人間科学)
		アジアの言語・文化を知る

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	鄭 雅云 () ＜令和7年4月＞ 修士※（文学）
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
その他	講師	仲島 淳子 () ＜令和7年4月＞ 修士（外国語教育学）
		韓国・朝鮮語Ⅰ 韓国・朝鮮語Ⅱ 韓国・朝鮮語Ⅲ 韓国・朝鮮語Ⅳ
その他	講師	幸田（大塩） 美沙 () ＜令和7年4月＞ 修士※（言語文化学）
		Basic English 3b Basic English 3v 資格の英語A 資格の英語B スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
その他	講師	上田 由香理 () ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		ライフステージと栄養
その他	講師	青（栗田） 未空 () ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		ライフステージと栄養
その他	講師	山城 稔暢 () ＜令和8年10月＞ 博士（理学）
		美しい地球を創る
その他	講師	梅原 宏司 () ＜令和7年4月＞ 博士（比較文明学）
		私たちはどう生きるか

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	鄭 雅云 () ＜令和7年4月＞ 修士※（文学）
		中国語Ⅰ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
その他	講師	仲島 淳子 () ＜令和8年4月＞ 修士（外国語教育学）
		韓国・朝鮮語Ⅲ 韓国・朝鮮語Ⅳ
その他	講師	林 玲穂 () ＜令和7年4月＞ 修士（文学）
		韓国・朝鮮語Ⅰ 韓国・朝鮮語Ⅱ
その他	講師	幸田（大塩） 美沙 () ＜令和7年4月＞ 修士※（言語文化学）
		Basic English 3b Basic English 3v 資格の英語A 資格の英語B スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
その他	准教授	上田 由香理 () ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		ライフステージと栄養
その他	准教授	青（栗田） 未空 () ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		ライフステージと栄養
その他	講師	山城 稔暢 () ＜令和8年10月＞ 博士（理学）
		美しい地球を創る
その他	講師	梅原 宏司 () ＜令和7年4月＞ 博士（比較文明学）
		私たちはどう生きるか

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	中 周子 () ＜令和7年4月＞ 博士（言語文化学）
		文学の読み方
その他	講師	磯 忠幸 () ＜令和7年10月＞ 社会学修士 修士※(文学)
		宗教と現代
その他	講師	小出 治都子 () ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		ポップカルチャー論
その他	講師	神田 恵未（塔林 図雅） () ＜令和7年4月＞ 修士※（商学）
		家計・消費と経済
その他	講師	萩原 雅也 () ＜令和7年4月＞ 博士（創造都市）
		地域課題とボランティア活動
その他	講師	中尾 秀一 () ＜令和8年4月＞ 修士※(国際学)
		国際社会と平和
その他	講師	杉本 厚夫 () ＜令和8年10月＞ 博士（学術）
		レクリエーションと健康

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	中 周子 () ＜令和7年4月＞ 博士（言語文化学）
		文学の読み方
その他	講師	磯 忠幸 () ＜令和7年10月＞ 社会学修士 修士※(文学)
		宗教と現代
その他	講師	牛嶋 興平 () ＜令和7年4月＞ 修士（芸術）
		ポップカルチャー論
その他	講師	渡邊 みのぶ () ＜令和7年4月＞ 法学修士
		日本国憲法
その他	講師	坂本 達也 () ＜令和7年4月＞ 法学士
		日本国憲法
その他	講師	神田 恵未（塔林 図雅） () ＜令和7年4月＞ 修士※（商学）
		家計・消費と経済
その他	講師	萩原 雅也 () ＜令和7年4月＞ 博士（創造都市）
		地域課題とボランティア活動
その他	講師	中尾 秀一 () ＜令和8年4月＞ 修士※(国際学)
		国際社会と平和
その他	講師	杉本 厚夫 () ＜令和8年10月＞ 博士（学術）
		レクリエーションと健康

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	小野 由莉花 () ＜令和7年10月＞ 修士(心理学)
		心理学実験
その他	講師	鈴木 直人 () ＜令和7年10月＞ 心理学修士
		心理学実験
その他	講師	笠井 賢治 () ＜令和8年4月＞ 文学学士
		文化政策学
その他	講師	萩原 一平 () ＜令和9年4月＞ Master of Science in Engineering (米国)
		脳科学とその応用
その他	講師	竹村 和久 () ＜令和8年4月＞ 博士(学術)
		行動経済学
その他	講師	有國 明弘 () ＜令和8年4月＞ 修士(文学)
		社会調査の方法
その他	講師	實本 正樹 () ＜令和7年4月＞ 修士(学術)
		物理で考える暮らし 美しい地球を創る

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	津村 朗子 () ＜令和7年10月＞ 短期大学卒
		キャリア設計
その他	講師	香坂 千佳子 () ＜令和7年10月＞ 経営修士※
		キャリア設計
その他	講師	小野 由莉花 () ＜令和7年10月＞ 修士(心理学)
		心理学実験
その他	講師	井上 真理子 () ＜令和7年10月＞ 博士(医学)
		心理学実験
その他	講師	笠井 賢治 () ＜令和8年4月＞ 文学学士
		文化政策学
その他	講師	萩原 一平 () ＜令和9年4月＞ Master of Science in Engineering (米国)
		脳科学とその応用
その他	講師	竹村 和久 () ＜令和8年4月＞ 博士(学術)
		行動経済学
その他	講師	有國 明弘 () ＜令和8年4月＞ 修士(文学)
		社会調査の方法
その他	講師	實本 正樹 () ＜令和7年4月＞ 修士(学術)
		物理で考える暮らし 美しい地球を創る

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	森 正憲 () ＜令和7年10月＞ 修士(工学)
		科学的方法の理解
その他	助教	富田（金澤） 愛佳 () ＜令和7年4月＞ 修士※(文学)
		アカデミック・スキルズA アカデミック・スキルズB 生活の中の日本語A 生活の中の日本語B

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	森 正憲 () ＜令和7年10月＞ 修士(工学)
		科学的方法の理解
その他	助教	富田（金澤） 愛佳 () ＜令和7年4月＞ 修士※(文学)
		アカデミック・スキルズA アカデミック・スキルズB 生活の中の日本語A 生活の中の日本語B

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。

(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）（その2の2）（その2の3）に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等（令和4年10月1日施行）の適用以前については、改正前様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」）以外の教員（助手を除く）（改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員）を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字**としてください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」（改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」）の順に記入してください。
- ・ 改正後大学設置基準等（令和4年10月1日施行）の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。（大学院、高等専門学校は除く）
- ・ 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間（年月日）を上段「学位」の下へ記入してください。
- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・担当者追加として、令和7年4月神村朋佳講師就任。
- ・平野莉江子非常勤講師辞任により、樋口尊子非常勤講師に変更。
- ・松本亮非常勤講師辞任により、佐藤春樹非常勤講師に変更。
- ・Jennifer Smith講師辞任により、Ayed Hasian講師が科目を担当。
- ・時間割編成の都合により、兼重昇教授から杉浦隆准教授に一部担当変更。
- ・鄭雅云非常勤講師一部科目辞任により、兼重昇教授に変更。
- ・仲島淳子非常勤講師辞任により、林玲穂非常勤講師に変更。
- ・時間割編成の都合により、奥田亮教授・坂田浩之教授が一部科目を辞任し、永野光朗教授に一部担当変更。
- ・小出治都子講師辞任により、牛嶋興平非常勤講師に変更。
- ・越智砂織教授辞任により、渡邊みのぶ非常勤講師・坂本達也非常勤講師に変更。
- ・越智砂織教授辞任により、令和7年4月竹内靖浩教授就任。
- ・高松直紀准教授辞任により、津村朗子非常勤講師・香坂千佳子非常勤講師に一部担当変更。
- ・鈴木直人非常勤講師辞任により、井上真理子非常勤講師に変更。
- ・令和7年4月中村圭美准教授就任。
- ・令和7年4月上田由香理講師、青未空講師が准教授に昇進。

(注)・変更内容を簡易書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。

原則としてＡＣ教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した

「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、ＡＣ教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要があります

- ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）」の設置の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づき「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「(2) -① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2) -② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) -① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における 設置基準上の必要基 幹教員数（α）	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	うち、完成年度時における 設置基準上の専ら当該学部 等の教員研究に従事する必 要基幹教員数（α）の4 分の3以上）
5	3	4
名	名	名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。

・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 基幹教員等数【大学・高专】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計 （A'）	助手 (A'')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計 （B'）	助手 (B'')
5	2	0	0	7	7	0	5	2	0	0	7	7	0
(5)	(2)	(0)	(0)	(7)	(7)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計 （C'）	助手 (C'')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計 （D'）	助手 (D'')
5	2	0	0	7	7	0	5	2	0	0	7	7	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。

高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、

「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」として記入してください。

なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、

「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。

また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A'）」欄には「－」を記入してください。

・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、

教員審査を審査済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、

「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	3
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、

及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている

教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、

「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{7}{7} = \boxed{100} \%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A'')}} = \frac{7}{7} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{7} = \boxed{14.28} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C'')}}{\text{設置時の計画(A''')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3)－① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
		該当なし											
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「(3)－②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼任教員）が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし											
合 計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

（学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼任教員）が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{7} = 0 \%$$

(注) ・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和 6 年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

0 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ② で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。

・ 令和 7 年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・ 上記 (3) の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和6年)	学生が本学科の目的を認識した上で学修することができるよう、本学科におけるリベラルアーツの定義を含め、養成する人材像及び3つのポリシーについて、分かりやすい周知及び説明に努めること。	【認可】 遵守事項 学生が本学科の教育目的や本学のリベラルアーツがどのような学びであるのか理解し、主体的に学修できるよう、入学後の履修説明や学科配布資料において、3つのポリシーと人材像をわかりやすく紹介した。また、履修要項やWebサイトでは、本学科の特徴や教育方針をテキスト化し、学生が自身の学びと照らし合わせて確認できる仕組みを整えた。こうした取り組みにより、学生が教育理念を自らの進路や関心と結びつけて捉えることができるよう支援している。	履行中 左記の取り組みを継続、強化していく。特に、入学する前に、リベラルアーツの学びとはどんなものであるか、またどういう意義があるか、そして本学のリベラルアーツ学科の学びの特徴はどんなものであるかを深く知ってもらい、養成する人材像や3つのポリシーをわかりやすく高校生向けの冊子に落とし込む等して、事前の周知にも注力していく。さらには、受験生にだけでなく、高校教員にも、具体的な深い内容を高校訪問（対面）にて説明し、入学者のレディネスを整えていく。
認 可 時 (令和6年)	教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。	【認可】 遵守事項 本学の学生募集は総合型選抜入試が中心となっており、募集・広報活動は前半（8月頃まで）に集中しており、特にオープンキャンパスでの対面での体験を経ることで志望度を上げているため、本学科の2025年度募集については、認可後に本格的な募集活動を行ったこと、また、高校訪問での高校教員への説明においても理解が進まない面があったこと等で、結果として大変厳しい結果となった。しかし、アドミッション・ポリシーに沿った学生受け入れを重視し、入学者選抜は制度として工夫した。	履行中 初年度は、リベラルアーツとは何か、そのうえで本学のリベラルアーツにはどんな学びの特徴があるか、具体的にどのような学びができるのかの理解が、受験生のみならず、保護者や特に高校教員への理解が進まなかった。今後、定型的なパンフレットやホームページの制限されたスペースのみで訴求することは困難であるので、高校教員・保護者宛てをメインとした冊子、高校生に向けてわかりやすく4年間の学びでの成長ストーリー冊子を作成し、より深いレベルで、学科の学びが今後どれだけ重要か、どのような受験生にこそ学んでほしいか、どのような具体の授業があるのか、どのような集大成が見通せるか等、より知ってもらえるよう、工夫していく。今後、収容定員との整合も踏まえ、入学者数の推移を検証しつつ、必要に応じて定員規模の見直しも視野に入れ、教育の質の維持に努めていく。
認 可 時 (令和6年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想について着実に実施すること。	【認可】 遵守事項 定年年齢（65歳）を超えて採用した専任教員及び採用後4年以内に定年年齢を迎える基幹教員については、採用後4年間は雇用継続し、それ以降は退職又は特任教授等の適用により、適切な運用を図っていく。基幹教員任用にあたっては、職位・年齢等のバランス及び教育研究分野等を考慮した上で、基幹教員の採用を計画的に進める。	履行中 左記のとおり、今後、後任補充にあたっては年齢構成を考慮した計画的な採用を行っていく予定である。

認 可 時 (令和6年)	学芸学部化粧ファッション学科の収容定員超過の是正に努めること。	【認可】 遵守事項	2023年度入学定員を20名増したことや、各入試においてよりアドミッション・ポリシーにマッチした受験生の選抜性を強める等したことにより、設置認可申請時の収容定員充足率1.20倍（602/520名）に対し、2025年5月1日時点では1.10倍（599/540名）と収容定員超過を是正した。	履行済	
認 可 時 (令和6年)	学芸学部国際英語学科の収容定員未充足の是正に努めること。	【認可】 遵守事項	2025年度入学生に対し、定員減（40→30）を行ったが、安定した運営が見込めないため、2025年度当該学科の募集を停止し、新たに2026年度より「言語文化コミュニケーション学科」を届出設置予定として検討を重ね、届出を行った。	履行中	国際英語学科を発展的に改組した「言語文化コミュニケーション学科」設置届出を行い（令和7年5月1日）、新しい学びと国際英語学科から継承する学びの領域あるいは形態の特長、魅力を強く訴求して、従来層と新しい層を獲得できるよう注力していく。 今後、収容定員との整合も踏まえ、入学者数の推移を検証しつつ、必要に応じて定員規模の見直しも視野に入れ、教育の質の維持に努めていく。
認 可 時 (令和6年)	児童教育学部児童教育学科の収容定員未充足の是正に努めること。	【認可】 遵守事項	2025年度入学生に対し、定員減（120→50）を行い、オープンキャンパス等の対面案内にも注力したが、最終的には入学定員に対しての充足率は46.0%（23/50名）に留まった。	履行中	魅力、コンテンツのバラエティ、充実度は保有しているのに、募集力につながっていないことを認識し、学びの魅力を“伝える”ことに最注力していく。そのためにWebでの授業配信を増加させていき、時代を見据えたプログラムであることの周知度を高めていく。また、児童教育学部児童教育学科では、対面のオープンキャンパスから次のオープンキャンパス企画への誘導率（リピート率）が他学科に比べて低い傾向があるので、次に繋げるよう企画内容を見直すなどし、過去入学実績のある高校からの現在入学者状況を分析する等して、高校訪問のあり方に工夫を行い、対策を講じていく。 今後、収容定員との整合も踏まえ、入学者数の推移を検証しつつ、必要に応じて定員規模の見直しも視野に入れ、教育の質の維持に努めていく。
認 可 時 (令和6年)	健康栄養学部健康栄養学科の収容定員未充足の是正に努めること。	【認可】 遵守事項	2025年度入学生に対し、定員減（160→100）を行い、オープンキャンパスでの対面案内の強化等を通じて、最終的に入学定員に対しての充足率は改善された（92/100名：92.0%）。	履行中	オープンキャンパスの実施方法等の工夫・改善、広報媒体（大学ホームページ及びSNS等）の更なる活用及び高校訪問等による高校との連携強化を推進し、学部の特長・魅力が高校生、保護者、高校教員等に伝わるような学生募集活動を行い、強化し、収容定員充足率の改善に努める。 今後、収容定員との整合も踏まえ、入学者数の推移を検証しつつ、必要に応じて定員規模の見直しも視野に入れ、教育の質の維持に努めていく。

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。
- 【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】**
- 令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。
- 【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】**
- 令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）（７）」と記載してください。
- 【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**
- 「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。
- その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。